

アメリカのクレーン運転士制度について

○ 概要

アメリカでは、業界団体が発行する資格証書が一般に通用している。(連邦労働安全衛生庁 (Occupational Safety and Health Administration: OSHA) や各州担当部署の承認を順次得ている。)

○ 資格証書発行主体

NCCCO (National Commission Certification of Crane Operators)

○ NCCCOの特徴

- ・ 第三者機関であり、独立した試験が行われている。
- ・ 労使による貢献
- ・ ピアレビューによる確認
- ・ 全国的な標準化、安全化

○ 分類

- ① 移動式クレーン (4 種)
- ② タワークレーン
- ③ 天井クレーン (ガントリークレーン)

○ 受験項目の例 (移動式クレーンの場合)

筆記試験、実技試験及び健康状態

○ 受験料

基本受験料 + 1 種類	1 6 5 ドル、追加分類	1 0 ドル
実技試験	6 0 ドル、追加実技試験	1 0 ドル
トータル	(基本) 2 2 5 ドル、(全て) 2 7 5 ドル	

○ 関係法令

連邦労働安全衛生庁 (OSHA) 連邦規則 (Code of Federal Regulations: CFR) 第 29 編

- ・ 1926.20 (General safety and health provisions: 全般的な安全衛生対策) (b) (4)
The employer shall permit only those employees qualified by training or experience to operate equipment and machinery.
(仮訳) 事業主は、訓練や経験により資格を取得した労働者にのみ、装置や機械の操作を許可する。
- ・ 1926.21 (Safety training and education: 安全衛生教育) (b) (2)
The employer shall instruct each employee in the recognition and avoidance of unsafe conditions and the regulations applicable to his work environment to control or eliminate any hazards or other exposure to illness or injury.
(仮訳) 事業主は、各労働者に対し、安全でない状態の認識と回避手段及び危険その他病気や怪我の恐れのある状態の対策のため自らの労働環境に適用される規制について、教育を行わなければならない